

令和元年度防災啓発研修講演

入場  
無料

# 大災害に対する 県民の防災力向上

■日時：令和元年12月14日(土)13:30～

※ 開場は13:00～

■場所：福井県国際交流会館 3F 特別会議室  
福井市宝永3-1-1

今後、発生が想定される大地震や、近年増加している豪雨・台風災害に対し、県民一人一人がとるべき行動などについて講演会を開催します。

< 講師 >

気象予報士（元気象庁）



饒村 曜 氏

東京大学大学院情報学環 教授  
総合防災情報研究センター長



田中 淳 氏

主催：福井県、一般財団法人消防防災科学センター  
共催：福井地方気象台

TEL：0776-20-0308 / FAX：0776-22-7617

## 饒村 曜(にょうむら よう)

講演テーマ: 気象と防災～激化している豪雨・台風災害から身を守る～

略歴: 1951年新潟県生まれ。新潟大学理学部卒業後、気象庁入庁。予報官などを経て、1995年阪神大震災時に神戸海洋気象台予報課長。その後、福井・和歌山・静岡・東京航空地方気象台長を歴任、2011年に気象庁を定年退職。

自然災害に対しては、ちょっとした知恵があれば軽減できるのではないかと感じ、台風進路予報の予報円表示など防災情報の発表やその改善のかたわら、わかりやすい著作などを積み重ねてきました。退職後、青山学院大学で非常勤講師等をしていましたが、現在は、(株)ウェザーマップの予報センター勤務をしています。

## 田中 淳(たなか あつし)

講演テーマ: 大災害に対する県民の備えについて

略歴: 1954年生まれ。1981年東京大学大学院社会学研究科修士課程修了。2008年より現職。専門は、集合行動論・災害情報論。被災者の情報行動、避難行動や平常時の準備行動などについて、情報の受容過程や意志決定過程、社会関係などの面から実証的に研究。

主な著書に、『災害情報と社会心理』(共著、北樹出版、2004)、『災害危機管理論入門』(編著、弘文堂、2008)『災害情報論入門』(編著、弘文堂、2008)ほか。

表面背景写真: 福井県立歴史博物館提供 原版所蔵: 米国国立公文書館 福井地方気象台提供

## 申 込 書

氏 名	
生年月日	T・S・H 年 月 日 (満 歳)
性 別	男 ・ 女
職 業	会社員 ・ 自営業 ・ 主夫、主婦 ・ 学生 定年退職、無職 ・ 公務員 (自治体) 公務員 (警察、消防) その他 ( )

※上記個人情報は当該事業にのみ利用し、事業終了後破棄いたします。

**12月10日(火)までを目安に、県庁危機対策・防災課あて  
FAX(0776-22-7617)によりご提出をお願いします。**